

**2017年4月2日 大統領選挙決選投票関連
(2017年4月エクアドル内政 別紙)**

1. 決選投票実施結果

4月2日に実施された大統領選挙決選投票の開票について、4月9日10:00(当地時間)時点で、国家選挙審議会(CNE)発表(HP掲載)の大統領選挙決選投票開票速報が開票100%を報じた(集計された投票者数 10,637,996)。それぞれの候補者につき、結果は次のとおり。

投票率は82.93%。

(1) レニン・モレノ大統領候補及びホルヘ・グラス副大統領候補(与党国家同盟(AP))

(得票率) 51.15%(5,060,424票)

(2) ギジェルモ・ラソ候補及びアンドレス・パエス副大統領候補(CREO・SUMA)

(同上) 48.85%(4,833,828票)

○白票: 0.66%(69,898票)

○無効票: 6.32%(672,234票)

2. 一部再集計の実施

決選投票実施後、CREO・SUMAを中心として、様々な形で、結果に対する異論の提示の正式の手続き(国家選挙審議会(CNE)への不服及び異議の申立て並びに選挙裁判所への上訴等)が行われた。この一部にも応える形で、CNEは、4月18日午前8時30分より、投じられた票の全体の11.2%に対応する3,865通の、各投票所の集計結果(ACTA)の再集計を実施した。

この結果として、CNEは、モレノ候補とラソ候補の得票率を、それぞれ51.16%及び48.84%と発表した(開票率100%の結果(上記1.)から、それぞれの得票率が、モレノ候補につき0.01%増、ラソ候補につき0.01%減との結果となっている。)。この結果に基づき、CNEは、モレノ候補の当選を発表した。

3. ラソ候補(CREO・SUMA)の19日記者会見

上記2.の一部票の再集計も受け、4月20日付等のメディアは、「19日、CREOは、大統領・副大統領選挙の期間を終えた。これからは、その政治戦略は2019年の地方選挙に注力するであろう。」と報じた。

また、ラソ候補は、19日、会見を行い、次期地方選挙において、全ての教区、市、県で候補者を擁立する旨述べた。

(了)